

いま行くべき神社仏閣、諸国巡礼、パワースポットを大紹介!

Discover Japan

日本の魅力、再発見【ディスカバー・ジャパン】

All Over the World

June 2010
980yen

2010年6月号(隔月6日発売)
5月6日発売
第2巻第3号/通巻5号

6

for tasty life
樫出版社

そもそも神道&
仏教って何だろう?
疑問を大解説!



中田英寿さんのディスカバー・ジャパン! カフェで発信中

松岡正剛×鶴田真由 遷都1300年の奈良を語る

戦国武将行きつけの神社仏閣ご利益スポット

柏井壽のご利益でめぐる京都

はじめてのお遍路、四国八十八カ所の旅に挑戦!

仏像ガールの旅ゆく仏像、普段の仏様

せきねきょうこのバリのパワースポットに行く

ご利益 あります。

なぜ神仏が存在するのか?

その理由はご利益を受けたいから、

といっても過言ではありません。

たとえば、家内安全、学業成就、商売繁盛、縁結び……。

日本人が神社仏閣へ出掛ける理由をひもとくと、

すべてがご利益にたどり着きませんか?

そういえば戦国武将も偉人も神頼みは欠かせませんでした。

そう、ご利益とは日本人にとって切っても切れないテーマです。

Kimono

洋服を選ぶように着物を選ぶ。
そんなお店ができました!

写真=内田トシヤス photo:Toshiyasu Uchida

京都市が、厳しい状況にある和装産業の活性化を目指して3月にオープンした着物のアンテナショップ「白鳥」。建築家・木島徹氏が手掛けた店内に並ぶ着物や帯は、着物コーディネーターの吉田有香さんが厳選したすべてメイド・イン・京都のもの。「着物は敷居が高いと思われるがちですが、普段着の感覚で着られるように提案したいんです」と吉田さん。なるほど、店にはいわゆる古典的な柄の着物は一切なく、無地に見えるけれどもよく見ると幾何学模様になっていたりと、淡い色合いのモダンな柄のものがあつたりと、いわゆる今までの「着物」の概念を覆される。わかりやすい価格も魅力のひとつで、生地についている値段は、胴裏、八掛、仕立て代込みの価格。10万円から用意されているので、「ちょっと着てみようか」という気にさせられる。

店名の「白鳥」を考案したのは、GRAPHのヘッドデザイナー、北川一成氏。古来より高貴とされる白い動物と、神聖な動物といわれる鳥とを組み合わせることで、京都の伝統産業の奥深さと品格を表現したのだとか。

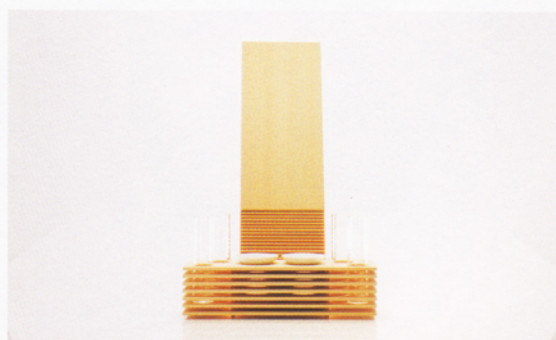
さあ、お気に入りの一着を求め足を運んでみませんか?

info.

白鳥
住所: 東京都港区南青山5-12-2
Tel: 03-3498-8588
営業時間: 12:00~20:00 定休日: なし
www.461k.jp

グラフィックデザインは
GRAPHが担当!

ロゴ、ショッピングバッグ、包装紙、包装紙に貼るシールなどを手掛けたのは、GRAPHの北川一成氏。白地に「白鳥」のロゴが浮き上がるバッグは、斬新!



1) 一祀御社 (いちまつりおやしろ)、4万9000円。2) 三祀御社、19万円。3) 二祀御社、8万9000円。※1と2は神具台は別売り

info.

問: 神宮司神棚舎
Tel: 0551-28-7289
http://jinguji-kamidanasha.net

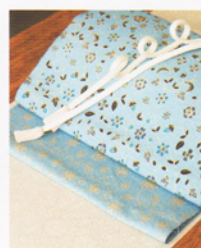


1) 大きな杉のテーブルが印象的な1階スペース。京都市の伝統産業品・北山丸太をふんだんに使用した空間は、モダンな京都といったイメージだ。二面がガラス張りになっており、明るい光が差し込む。2) それぞれの生地に価格が付いているので、値段の心配をすることがない。普段のお出掛けやフォーマルな場など、さまざまなシーンで活躍しそうな生地が品よく並ぶ。3) 2階は、優しい色合いの土壁に囲まれた空間

吉田さん、おすすめのコーディネート教えてください!



生地の柄は古典柄だが淡い色に仕上げることでモダンな印象に。帯や帯締めにも水色を入れて、すっきりまとめて



ファブリックのように控えめでありながら光沢感のある生地に、それをより引き立てるブルーの帯を組み合わせ



着物
コーディネーター
吉田有香さん

Product

洋の暮らしにも合う神棚
でも、大切な部分はそのまに

「神棚を設けたい気持ちはあるけれどインテリアに合わないから...」。そんな風に諦めていた人たちの要望を叶えてくれる神棚が誕生! 手掛けたのはサカイデザインソシエツの酒井俊彦氏。「神宮司神棚舎」の神棚をデザインするにあたり、酒井氏が最初にしたのは、神道の歴史と作法を調べることであったという。その結果、素材には社寺建築と関係の深い木材として知られる木曽檜と、1000年以上前から地中に埋没していた神代桂を使用。一社造は本棚に置き、二社造は壁に掛けることも可能、さらに、忙しくてもお供えを取り換えやすいよう、台で神具をひとまとめにしたりと、現代の暮らしへの配慮もなされている。暮らしの中に折りの心を取り入れてみませんか?